

研修 評価

研修名	令和7年度 災害支援ナース養成研修				
領 域	災害看護研修	会場	新潟県看護研修センター	受講料	会 員：無料
対 象	学習段階レベル（Ⅰ～Ⅲ） 募集数(50人)応募数(34人)参加数(35人)会員数(35人)非会員数(0人)				
日 時	令和 7 年 11 月 27 日（木）9：00～16：30 28 日（金）9：00～16：30				
ねらい（目標）	1. 災害支援ナースの役割及び機能を再認識する。 2. 災害支援ナースとして、他者との協働、自律的な活動の実践能力を維持する。				
講 師	講師名 江部 健人 新潟県福祉保健部地域医療政策課 講師名 大塚 旭 新潟県福祉保健部医師・看護職員確保対策課 講師名 山田 秀子 所属 新潟県看護協会 常務理事 講師名 長谷川 郁 看護師 所属 新潟大学医歯学総合病院 講師名 志田 和彬 看護師 所属 下越病院 講師名 下鳥 由紀 看護師 所属 新潟大学医歯学総合病院 講師名 石川 百恵 看護師 所属 済生会新潟病院 講師名 本間 いずみ看護師 所属 済生会新潟県央基幹病院 講師名 田辺 生子 所属 長岡崇徳大学 講師名 小柳 直子 看護師 所属 新潟市民病院 感染管理認定看護師 講師名 宮沢 寿 看護師 所属 新潟市民病院 救急看護認定看護師 講師名 竹田 一洋看護師 所属 済生会新潟病院クリティカルケア認定看護師 講師名 田中 美保看護師 所属 三之町病院 感染管理認定看護師				
内容・方法	・日本看護協会のオンデマンド研修 20 時間、演習 10 時間（災害・新興感染症） ・演習は日本看護協会より発行された災害支援ナース養成研修における都道府県看護協会への委託に関する手引きに準じて開催した。				
結果 （受講者の意見感想）	○参加者数 35 名 70.0% 【達成・未達成】 ○アンケート結果 （回収率 約 88.6%） 理解度 100% 【達成・未達成】 目標の習得度 96.8% 【達成・未達成】 ○受講者の満足度 ・講義内容については「分かりやすかった」「最新の情報を学べた」「実際の体験談やグループワークを通じて学びが深まった」という声があり、実践的な内容が受講者の学びにつながったと評価できる。特に、認定看護師による専門的な講義や、感染対策への意識向上、トイレの使い方改善策など、現場での応用を意識した内容に価値を感じたという意見もあった。 ・肯定的な評価が多い一方で、「現場で動けるか不安」「派遣へのイメージが持ちにくい」といった不安も見受けられた。				
企画の評価 総括	目標達成の評価： 【研修会の目標は達成した・達成しなかった】 総括 ・アンケート結果より抽出された不安を解消できるような工夫が必要。日本看護協会より示されているカリキュラムに準じて運営するという制限がある中ではあるが、不安が				

	解消されるように努める。 ・感染編の演習で行うゾーニングに関して、もう少しシンプルな演習内容でもよいのではないかという意見が出された。次年度の演習構成の参考とする。
課 題	・日本看護協会より示されるカリキュラムが改訂されるため、本県で開催する研修内容を修正する必要がある。 ・2027 年より災害支援ナース登録更新編の開催が予告されている。日本看護協会からの情報発信を待ちつつも、2026 年から準備を進めていく必要がある。
担当者	健康危機対策支援委員会